

「ニコパカード」の普及の状況について

1 「年齢別」の取得人数の割合について

60代から80代までの取得人数が全体の約7割を占めていることから、とりわけ高齢者層の関心が高く、低額な運賃でバスを利用するため、当該年齢層でのカードの取得が進んでいるものと考えられる。

2 「地域別」の取得人数の割合について

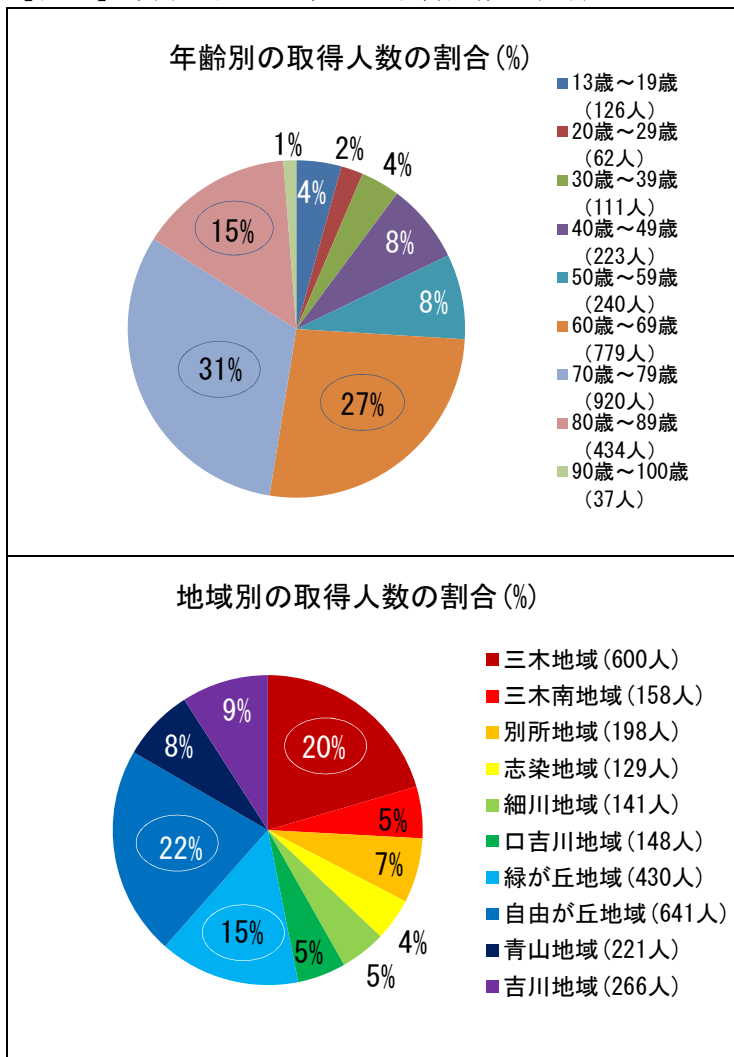
自由が丘（22%）、三木（20%）及び緑が丘地域（15%）の順で取得人数の割合が高くなっている。

これらの地域は、従前から、主要幹線をはじめとするバス交通が充実しているエリアであり、低額な運賃でバスを利用するため、新たにカードを取得した人数が増加しているものと考えられる。

3 今後の普及啓発について

カードの普及状況の分析を更に進め、これらの分析を基に、取得人数の割合が低い地域に対し、普及啓発のための説明会を重点的に開催するなど、バスの利用促進に向けた取組を進めていく。

【表1】年齢別及び地域別の取得人数の割合



【表2】「ニコパカード」の発行枚数

「ニコパカード」の発行枚数

平成28年2月29日現在

申込受付場所	総発行枚数(枚)	発行率(%)
交通政策課	1,300	44.4
中央公民館	121	4.1
三木南交流センター	35	1.2
別所町公民館	71	2.4
志染町公民館	83	2.8
細川町公民館	72	2.5
口吉川町公民館	83	2.8
緑が丘町公民館	258	8.8
自由が丘公民館	369	12.6
青山公民館	168	5.7
吉川町公民館	202	6.9
北播磨総合医療センター	112	3.8
吉川支所	58	2.0
計	2,932	100.0

(対象期間：平成27年8月3日～平成28年2月29日)